

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐野和夫
印刷所
(株)東北プリント



「みやぎ、豚と卵のフードマルシェ」(令和5年11月10日～12日 JR仙台駅)

もくじ

CONTENTS

「みやぎ、豚と卵のフードマルシェ」を開催しました！	2	2023東日本デイルーショーの結果について	9
高病原性鳥インフルエンザの発生状況と発生予防について	3	令和6年度宮城県農業大学校入校生を募集(一般入校試験後期)	10
令和5年度宮城県総合畜産共進会(肉豚の部)盛会裡に終了	4	農業大学校生の抱負	10
第63回仙台牛枝肉共進会終了報告	5	和子牛生産者臨時経営支援事業について	11
子牛を寒さから守りましょう～ヌレ子の寒冷対策～	6	馬事畜産振興の活動報告	12
令和5年度上半期生乳需給状況について	7	価格安定対策事業の発動状況について	12
畜試便り	8		
衛生便り	9		



みやぎの畜産情報発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



「みやぎ、豚と卵のフードマルシェ」を開催しました！

宮城県農政部畜産課

宮城県では、意欲ある中小規模の採卵養鶏・養豚生産者を支援し、畜産の労働生産性向上・食品産業との連携強化による持続的な地産地消を推進するため、令和4年度より「多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業」を実施しています。

当事業の一環として、令和5年11月10日（金）から12日（日）まで、JR仙台駅2階東西自由通路にて、「みやぎ、豚と卵のフードマルシェ」を開催し、多くのお客様にお買い上げいただきました。

この販売会には、宮城県産の銘柄豚肉や銘柄卵を活用した商品を取り扱う10事業者が出店しました。事業者の中には、本販売会のため新たに県産銘柄畜産物の取扱いを始めた事業者や、販売会限定商品を開発された事業者もあり、魅力ある銘柄畜産物の開発及び販売促進につながるイベントとなりました。

出店事業者（主な販売商品）：（敬称略・順不同）

プリマル（プリン）、自然卵農園（プリン、クレープ等）、UPIBAKER（パン）、PECO（マフィン）、蔵王樹氷庵（プリン、カヌレ等）、七曜星（おにぎり、パン）、もちぶた館（ソーセージ、サラミ等）、café食堂 Laugh.（シフォンケーキ等）、ヴィクトリアンカフェ（パフェケーキ缶等）、SORA&sweets（チーズケーキ等）

（販売会の様子）



★今後の販売会情報（予定）★

令和5年12月1日（金）～3日（日） 藤崎本館前 サンモール一番町商店街

令和6年2月13日（火）～15日（木） 宮城県庁1階ロビー

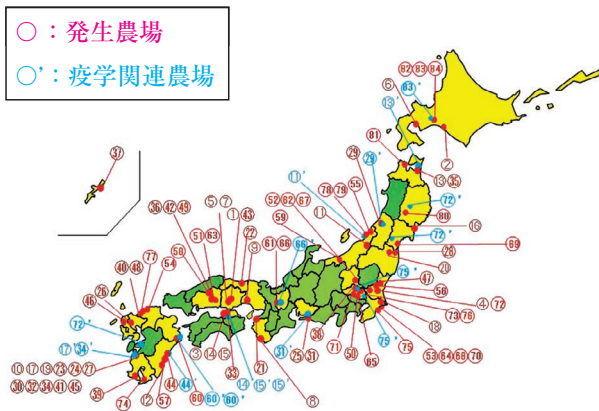
（生産振興班 佐藤 浩子）

高病原性鳥インフルエンザの発生状況と発生予防について

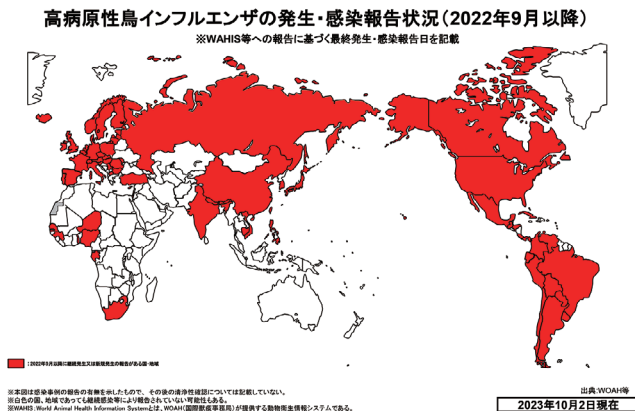
宮城県農政部家畜防疫対策室

国内における高病原性鳥インフルエンザについて、昨シーズン（2022-2023年）は、昨年9月25日に神奈川県内で回収された死亡野鳥からウイルスが検出されて以降、本年4月まで全国各地で野鳥の感染事例が確認されるなど、長期間にわたって農場へのウイルスの侵入リスクが高い状態にありました。また、昨シーズンの国内の養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生は、過去最多となる26道県84事例が確認され、約1,771万羽が殺処分されました。本県では、令和4年11月気仙沼市の養鶏場（国内16例目）、令和5年1月角田市の家きん農場（国内69例目）での発生があり、令和5年2月に茨城県の家きん農場（国内72例目）の発生に伴う疫学関連農場として、蔵王町の家きん農場で殺処分等の防疫措置を行いました。また、世界的な流行も続いており、近隣の韓国では昨シーズンに75事例が確認され、欧州や北米では、昨冬に広い地域で家きん及び野鳥における感染事例がありました。本年も昨年と同様に、夏季に家きんや野鳥における感染事例が報告されています。さらに、これまで本病の未発生地域であった南米各国へと感染は拡大しております。

令和4年度国内発生状況



世界の発生状況



出典：農林水産省 HP

今シーズンは、令和5年10月に国内（北海道）の死亡野鳥で2例の高病原性鳥インフルエンザが確認されています。このことは既に高病原性鳥インフルエンザウイルスを保有する渡り鳥が日本に飛来していることを示唆するものであり、厳重な警戒が必要です。家きん飼養農場においては、毎日の健康観察並びに異状の早期発見及び早期通報をお願いします。特にあひるでは、感染しても症状が明確でない事例が認められたことから、産卵率の低下や元気消失等の症状にもご注意ください。飼養衛生管理基準の遵守では、農場外から衛生管理区域内にウイルスを持ち込まないこと、衛生管理区域内にウイルスが存在しても、鶏舎内に持ち込まないことが重要です。衛生管理区域内や鶏舎に入る際は、手指の消毒、専用の衣服や靴への交換等、細心の注意をお願いします。野生動物対策では、野生動物が衛生管理区域内に入りにくいように、農場の敷地内を整理・整頓していただき、鶏舎に侵入されないよう、点検や修繕の対応をお願いします。発生予防及びまん延防止対策にご協力ください。

(衛生安全班 江頭 宏之)

令和5年度宮城県総合畜産共進会（肉豚の部）盛会裡に終了

一般社団法人宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和5年度宮城県総合畜産共進会（肉豚の部）を、以下のとおり開催し、お蔭様をもちまして盛会裡に終了いたしました。

【開催期日】 10月25日～27日 宮城県食肉流通公社（登米市）

【出品頭数】 第1区37頭、第2区68頭、合計105頭

なお、上位受賞者及び審査報告（抜粋）は下記のとおりです。

【審査報告】

豚枝肉取引規格に基づく格付結果は、「上」以上率が第1区、第2区合わせて64.8%、平均枝肉重量は77.9kgで「上」の重量・背脂肪範囲内の「上」率は81.0%で品質の向上がうかがえる結果となりました。

全体的に体型良好な枝肉の出品が見られましたが、枝肉重量に若干のばらつきがみられ、体型良好でありながら重量が「上」の重量範囲を超過した枝肉があったのが残念でした。肉質においては、肉の色、光沢に問題はなく、きめ細やかで脂肪質の良い枝肉もあり、肉質評価の高い枝肉が見られました。

今後とも、飼養管理、重量管理に十分留意され、適正重量での出荷、並びに、消費者が求める品質優良な安全でおいしい肉豚の生産の継続をお願いいたします。

【名誉賞】 農林水産大臣賞 宮城県知事賞	第1区（宮城野豚） 登米市 <u>ビッグ夢ファーム</u>
【名誉賞】 農林水産省畜産局長賞 宮城県議会議長賞	第2区（第1区以外の肉豚） 登米市 <u>三塚 正恵</u>
【東北農政局長賞】	第1区（宮城野豚） <u>加美町 渡辺 耕並</u>
【団体賞】	<u>登米地域</u>



左：登米市 ビッグ夢ファーム

右：登米市 三塚 正恵 氏

（経営支援課 伊藤 利樹）

第63回仙台牛枝肉共進会終了報告

全農宮城県本部

農林水産祭参加 第63回仙台牛枝肉共進会は、11月5日～7日の期間で仙台中央食肉卸売市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

《チャンピオン牛》

第1部 黒毛和種 去勢の部

出品者 株式会社 川村ファーム (JAいしのまき)

血統 父：茂福久 母の父：安福久

規格 A-5 BMS No.12 枝肉重量 627.5kg

枝肉単価 6,009円

第2部 黒毛和種 メスの部

出品者 蓬田 忠雄 (JA新みやぎ)

血統 父：美津金幸 母の父：勝洋

規格 A-5 BMS No.12 枝肉重量 483.5kg

枝肉単価 5,561円

1) 出品財の概要について

第1部 (去勢の部)

格付は「A-5」で枝肉重量627.5kg、ロース芯面積は118cm²と非常に大きく、ばらが10.1cmと厚く、皮下脂肪が1.1cmで歩留基準値は高く82.7でした。各筋肉が十分に発達し、肉量豊富で、無駄の見られないところが高く評価されました。

第2部 (メスの部)

格付は「A-5」で枝肉重量483.5kg、ロース芯面積は80.6cm²と優秀で、ばらが9.2cmと厚く、皮下脂肪が2.0cmで歩留基準値は80.6でした。枝肉は各部のバランスが大変優れており、脂質、肉の光沢が良いものが高く評価されました。

2) 審査経過

全体については、「歩留」では前回と比較し、枝肉重量は去勢が9.5kg減少した一方、雌が1.0kg増加しました。ロース芯面積は去勢では6.3cm²、雌では6.7cm²増加し、歩留基準値は去勢メスともに増加する結果となりました。全体を通し、出品された枝肉の厚みが増し、肉量と各部のバランスの優れた枝肉が多くみられ、去勢、雌ともに歩留等級は150頭全頭「A」等級となりました。なお、110頭中33頭でロース芯面積が100cm²以上となり、前回の15頭から倍以上の増加となりました。

「肉質」ではBMS No.10以上の割合が86.4%と昨年比で9.1%も増加しており、全国に誇る仙台牛の共進会にふさわしい内容でした。胸最長筋の脂肪交雑は申し分なく、枝肉の露出筋肉部の交雑も充実したものが多く、「肉の色沢」「肉締め及びきめ」に優れ、牛肉の美味しさに係る要素として重要性が増している脂肪質については「光沢・粘り」とも高品質なものが多く見られました。

生産者の高レベルな飼養管理が見て取れる素晴らしい枝肉が揃っており、レベルの高い共進会となりました。



右：第1部チャンピオン賞 (株)川村ファーム様
左：第2部チャンピオン賞 蓬田忠雄様

(生産販売課 早坂 公宏)

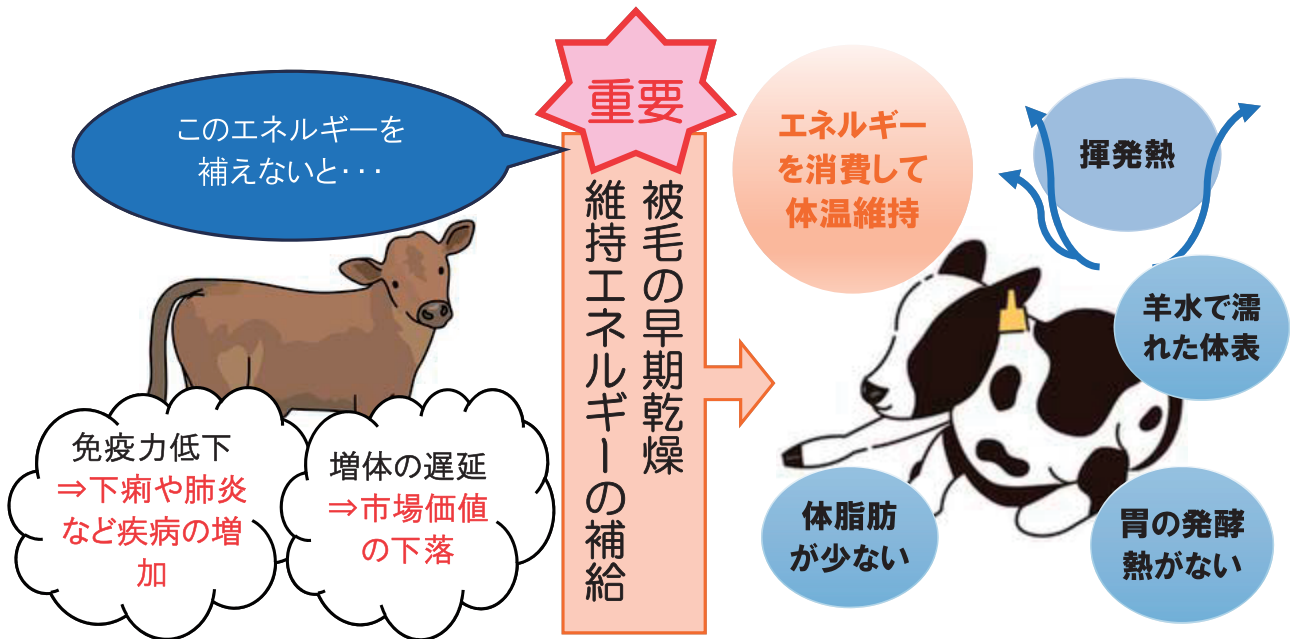
子牛を寒さから守りましょう ～ ヌレ子の寒冷対策 ～

NOSAI宮城

今回ご紹介するテーマにある「ヌレ子」とは、生後間もない子牛のことを指します。

新生子牛の冬季の体温消耗は顕著であり、事故も多発しています。対策をしっかりと行うことで、その後の疾病の予防にもつながります。

生まれたばかりの子牛は体温が奪われやすく、体温維持のために多くのエネルギーを使います。



子牛を守るにはどんな対策があるの？



牛のリッキング（なめとり）が重要ですが、なかなかしない母牛も見られます。その際はタオルなどでの清拭が必要です。

農家さんによっては自宅の玄関にストーブとプール、湯たんぽを用意し、出生直後はプール内で暖を与えている方や、短時間で労力を必要としない方法として保温機を導入している方もいます。



保温機

その後の対策も重要です



◎エネルギー増強

- ・暖房器具の使用（ヒーター、ネックウォーマー、カーフジャケットなど）
- ・ミルク（代用乳）の量を10%増やす
- ・スターターの給与量を増やす

◎環境の管理

- ・飲用水は体が冷えないよう、ぬるま湯にして給与
- ・比較的暖かい時間に換気を行い、牛舎の空気を一新

※牛舎を閉め切っていると、アンモニアの充満により呼吸器疾患を発生しやすくなります。子牛の頭の位置までしゃがみ、目や鼻にツンとくるようならアンモニアが溜まっている状態ですので注意しましょう。

（第二事業部 家畜課 長江 達哉）

令和5年度上半期生乳需給状況について

東北生乳販売農業協同組合連合会宮城支所 みやぎの酪農農業協同組合

令和5年度上半期の生乳受託実績は、全国で3,434,407^ト、前年同期比5.4%の減少。地域別では北海道が1,979,448^トで5.2%の減少、都府県は1,454,959^トで5.7%の減少と、前年同期比を大幅に下回っております。

生乳生産量減少の主な要因としては、需給緩和による生産抑制対策および夏の記録的な猛暑の影響に加え離農も例年以上に進行していることが考えられます。

また、離農による生産基盤の弱体化も懸念されております。

このような中、4月分から学乳・乳製品向け、8月分から飲用・発酵乳等向け乳価がそれぞれ10円値上げされた一方で、乳価値上げに伴う製品価格の改定等の影響により飲用等向け需要も低迷しております。

(1) 全国

全国生乳受託実績

(単位：ト、%)

地区名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4~9月計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
北海道	329,272	94.7	345,597	95.5	335,107	96.4	336,852	95.4	321,744	92.6	310,875	94.0	1,979,448	94.8
都府県	258,227	95.3	262,177	94.4	244,323	94.3	238,996	94.2	228,010	94.1	223,225	93.6	1,454,959	94.3
全国	587,500	94.9	607,775	95.0	579,430	95.5	575,848	94.9	549,753	93.2	534,101	93.8	3,434,407	94.6

(2) 東北

令和5年4月～9月の受託乳量は235,416^ト、前年同期比93.3%となっております。

東北生乳受託販売実績

(単位：kg、%)

県	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4~9月計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
青森	6,354,676.0	99.1	6,715,370.0	100.6	6,317,041.0	98.4	6,302,388.0	97.8	5,655,246.0	88.8	5,377,024.0	87.4	36,721,745.0	95.5
岩手	15,230,028.0	96.1	15,655,790.0	95.8	14,848,352.0	96.1	15,083,124.0	96.5	14,296,791.0	92.4	13,906,830.0	92.9	89,020,915.0	95.0
宮城	8,557,534.0	92.2	8,668,754.0	91.2	8,281,829.0	92.6	8,352,755.0	93.0	7,651,995.0	87.5	7,440,968.0	88.7	48,953,835.0	90.9
秋田	1,821,490.0	94.1	1,844,155.0	93.3	1,761,713.0	95.1	1,738,032.0	93.1	1,590,795.0	86.0	1,562,147.0	86.5	10,318,332.0	91.4
山形	4,084,917.0	92.4	4,180,099.0	91.8	3,939,702.0	94.0	3,846,510.0	91.4	3,510,101.0	89.1	3,384,418.0	89.0	22,945,747.0	91.4
福島	4,807,336.0	92.3	4,902,206.0	91.8	4,495,850.0	89.2	4,528,733.0	92.0	4,431,297.0	92.8	4,290,797.0	92.3	27,456,219.0	91.7
計	40,855,981.0	94.8	41,966,374.0	94.5	39,644,487.0	94.6	39,851,542.0	94.8	37,136,225.0	90.3	35,962,184.0	90.4	235,416,793.0	93.3

(3) 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、令和5年4月～9月の飲用牛乳向け168,827^ト、前年同期比95.0%、特定乳製品向け22,668^ト、前年同期比79.4%となっております。

その他の用途については、はっ酵乳等向け40,004^ト、前年同期比94.7%、チーズ向け847^ト、前年同期比102.8%、生クリーム等向け3,068^ト、前年同期比103.5%となっております。

東北用途別販売実績

(単位：kg、%)

用途	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4~9月計		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
総受託販売乳量	40,855,981.0	94.8	41,966,374.0	94.5	39,644,487.0	94.6	39,851,542.0	94.8	37,136,225.0	90.3	35,962,184.0	90.4	235,416,793.0	93.3	
飲用等向け	飲用牛乳向け	27,922,567.0	96.5	29,496,651.0	95.5	28,617,226.0	95.4	28,543,937.0	97.0	26,275,020.0	91.7	27,971,954.0	93.6	168,827,355.0	95.0
	(うち学乳向け)	(1,825,409.6)	98.6	(2,442,196.1)	101.2	(2,665,250.6)	96.7	(1,658,065.1)	95.8	(815,017.7)	98.8	(2,447,888.9)	101.4	11,853,828.0	98.9
	はっ酵乳等向け	6,662,280.0	92.3	7,038,802.0	94.9	7,025,938.0	97.2	6,704,162.0	93.0	6,635,347.0	97.4	5,938,183.0	93.2	40,004,712.0	94.7
乳製品向け	特定乳製品向け	5,599,948.0	88.9	4,817,205.0	87.8	3,350,782.0	83.2	3,899,213.0	83.3	3,595,000.0	70.9	1,405,988.0	47.2	22,668,136.0	79.4
	生クリーム等向け	532,947.0	106.2	469,422.0	106.7	511,941.0	100.2	553,243.0	91.2	490,681.0	102.1	510,444.0	120.0	3,068,678.0	103.5
チーズ向け	138,239.0	89.8	144,294.0	94.6	138,600.0	103.4	150,987.0	120.6	140,177.0	108.4	135,615.0	104.5	847,912.0	102.8	

(4) 宮城県

令和5年4月～9月の受託乳量は48,953^ト、前年同期比90.9%となっております。

宮城県生乳受託販売実績

(単位：kg、%)

団体名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		4~9月計	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
みやぎの	5,192,197	92.3	5,287,329	91.2	5,034,344	92.1	5,119,695	93.3	4,644,728	86.7	4,603,809	89.9	29,882,102	91.0
全農宮城	1,223,702	88.5	1,224,556	86.9	1,184,647	90.4	1,188,106	91.2	1,110,781	89.8	1,027,963	86.6	6,959,755	88.9
宮城酪農	2,141,635	94.1	2,156,869	93.8	2,062,838	95.1	2,044,954	93.2	1,896,486	88.3	1,809,196	86.9	12,111,978	92.0
宮城県	8,557,534	92.2	8,668,754	91.2	8,281,829	92.6	8,352,755	93.0	7,651,995	87.5	7,440,968	88.7	48,953,835	90.9

(販売課 日野 裕治)

〈畜試便り〉

子実用トウモロコシ収穫実演会開催報告

宮城県畜産試験場

畜産試験場では、令和4年度より、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 新稲作研究会との受託契約により、「子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立」を2か年の研究課題として実施しており、遠田郡涌谷町で生産者の協力を得ながら子実用トウモロコシの現地栽培実証試験を実施しています。

9月1日に涌谷地域農業再生協議会主催で、県の試験にご協力をいただいている農業生産法人AgriFrontW様のほ場を会場として子実用トウモロコシの収穫実演会を開催し、生産者・関係機関多数の参加がありました。実演会では、コーンヘッダーを装着した汎用コンバインによる収穫実演に先立ち、涌谷町地域農業再生協議会から耕種概要の説明がされ、畜産試験場からは当該ほ場で実施している殺虫剤試験の概要について説明をしました。

殺虫剤については、子実用トウモロコシでカビ毒による品質低下の原因となるアワノメイガに対する殺虫剤では空中散布可能な薬剤が今までありませんでしたが、今年から各種殺虫剤の適用が子実用トウモロコシにも拡大され、ドローン散布による効果的な防除ができるようになりました。

当該ほ場においても、アワノメイガによる子実の食害が低減され、茎葉部の折損・雌穂脱落の低減も確認でき（殺虫剤散布区は被害がほぼ皆無）、実演会参加者にとっても効果を確認しやすい結果となりました。

水田の省力管理対策・飼料価格高騰対策等耕畜連携のキー作物となる子実用トウモロコシは、令和5年度も県内において作付面積が拡大しています。畜産試験場でも、今後の更なる普及拡大に向けて技術情報を提供していく予定です。



(草地飼料部 杉本 達郎)

〈衛生便り〉

高病原性鳥インフルエンザの流行について

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所畜産振興部

高病原性鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスの感染による家きんの疾病であり、2022年秋以降オーストラリア大陸を除く全ての大陸での感染が確認されています。国内では、昨シーズン（2022-2023年）、26道県84事例が発生し、約1,771万羽が殺処分対象となり、過去最大規模となりました。海外からのウイルスの侵入経路及び国内の感染拡大要因として重要な野鳥の感染も242事例で過去最多となりました。昨シーズンの野鳥での9月及び家きんでの10月発生は、これまでで最も早い感染確認となりました。

昨シーズンの疫学調査において、発生農場周辺には、渡り鳥が飛来する川、ため池、水路、水田等の水辺がある事例が多く、さらに発生農場敷地内で陽性の死亡ハシブトガラスが発見された事例も報告されており、発生農場周辺の環境中ウイルス濃度の増加が示唆されました。今シーズンも11月に入り、渡り鳥の飛来も本格化する季節です。国内では、家きんでの発生は報告されていないものの、すでに野鳥での陽性事例が6例報告され、そのうち2例は本県での発生となっております（11月7日時点）、今シーズンも野鳥を介した農場へのウイルス侵入リスクが高いと考えられます。

本病発生予防のため、農場周辺環境には野鳥・野生動物等により持ち込まれたウイルスが存在する可能性を十分考慮し、飼養衛生管理基準の遵守を徹底することが重要です。万が一、死亡率の増加等異常が認められた場合には、最寄りの家畜保健衛生所や畜産振興部にご連絡ください。

(畜産振興班 高橋 春美)

2023東日本デイレシーショーの結果について

宮城県ホルスタイン改良同志会

令和5年11月1日（水）に岩手県雫石町の全農岩手県本部中央家畜市場において、2023東日本デイレシーショーが開催され、東北6県より17部141頭の出品がありました。オフィシャル審査員は北海道広尾町 酪農家の佐藤 孝一 氏、アソシエイト審査員は岩手県葛巻町 酪農家の折元 正人 氏により審査が行われました。

その結果、本県出品牛の上位入賞牛は下記のとおりです。ご支援ご協力いただきました関係各位に心より感謝申し上げます。

記

第2部	3位	アイスヴェレッツジ ローヤル ユニクス リッチミルク	栗原市 (有)小山牧場
第4部	2位	ミヤノウ レイジャー サン ミラクル RED	名取市 宮城県農業高等学校
第4部	3位	ミヤノウ T レイジャー ハーゲン RED	名取市 宮城県農業高等学校
第4部	4位	アイスヴェレッツジ アロングサイド クッキークリーム	栗原市 (有)小山牧場
第6部	5位	ビーチフィールド パニール バーバラ	大崎市 濱田 賢志
第12部	5位	ウツデイランド クラツシユ モエ	角田市 (有)渡辺ファーム
第13部	3位	エリートジエン モントロス エン ET	丸森町 (有)半澤牧場

(事務局：(一社) 宮城県畜産協会 家畜改良課)

令和6年度宮城県農業大学校入校生を募集（一般入校試験後期）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして、昭和52年4月に「宮城県農業実践大学校」として設立され、平成20年7月には専修学校の機能を付加し、平成21年4月に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。

下記により、令和6年度的一般入校試験（後期）が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

- ◇募集人員（推薦入校試験・一般入校試験（前期）分を含む）
畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名
 - ◇応募資格
高等学校卒業者（令和6年3月卒業見込みの者を含む）又はこれと同等以上の学力があると認められ、本県農業の振興に貢献する意欲がある者
 - ◇募集期間
令和6年1月22日（月）～令和6年2月5日（月）（当日消印有効）
 - ◇試験日時
令和6年2月20日（火）午前8時45分～
 - ◇合格発表日
令和6年2月28日（水）午前10時
 - ◇試験場所
宮城県農業大学校名取教場
 - ◇試験科目
①筆記試験 国語総合（古文・漢文除く）（60分）、数学Ⅰ（60分）、小論文（60分800字）
②面接試験 個人面接（15分程度）
（注）定員に達した学部は、一般入校試験（後期）を実施しないことがあります。一般入校試験（後期）の募集人数は令和6年1月上旬にホームページ上に掲載します。
 - ◇専修学校のメリット
 - ①卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。
 - ②卒業生は、4年制大学の3年次への編入学試験の受験が可能となります。（編入試験実施の有無については、希望する大学に確認してください。）
 - ◇奨学金等支援制度
 - ①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、入学後に公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。
 - ②本校を卒業後、就農を予定されている方は、入学後に国の事業である就農準備資金の申請ができます。
 - ③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。（高校在学中に申請）
- ※上記①～③の奨学金等の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。
入校試験・奨学金等支援制度についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班（電話022-383-8138）までお問い合わせください。

〈農業大学校生の抱負〉

今後の就農に向けて

宮城県農業大学校 畜産学部 2学年 渡邊 翔



私は宮城県農業大学校畜産学部肉牛専攻の渡邊翔です。私の家では繁殖雌牛8頭と育成牛4頭の計12頭の小さな規模で畜産経営をしています。飼養管理は祖父と父と私で行っていましたが、祖父があまり体を動かさなくなったので、今は主に父と私で作業しています。母と祖母は主に野菜の栽培を行い、家族全員で農業を行っています。

私は幼い頃から「畜産」という言葉が好きで、家でも牛の世話をし、畜産関連の情報や写真が載っている雑誌などを見ていました。私の家の牛たちは毎日手をかけているため静かで大人しく、削蹄や人工授精なども落ち着いてできています。

中学生の頃、分娩を手伝った時に出産後の子牛の体を拭きすぎて母牛の匂いが落ち、母牛が自分の子だと認識出来ず子牛に拒絶反応を起こしてしまい、子牛の足や皮膚を傷つけ、あまり上手く歩けない状態になってしまったことがありました。

自分のせいでこのようなことになってしまい、私の心は苦しくなる一方で、今後自分はどうのような行動をとればよいか、これからどうすれば良いかなどを考えました。就農するにあたり、私には畜産の知識が不足していることに気づき、一から畜産を学ぶために高校、大学校と農業関係の学校に進学しました。大学校を卒業した後も畜産を勉強するために白石市にある「みやぎ農業振興公社白石牧場」で研修を行い、実践的な技術を身につけ、私の家での飼養管理に役立てることができるよう学んでいきたいと思っています。いずれ私は農業を継ごうと思っているので、必要な知識を修得し、今後の就農に向けて頑張っていきます。

和子牛生産者臨時経営支援事業について

一般社団法人宮城県畜産協会

支援内容と対象となる子牛

和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、事業に参加している生産者に対し、販売頭数に応じて支援交付金（平均価格と発動基準価格との差額の4分の3）を交付する事業となります。

対象となる子牛は次の2つの条件を満たしていることです。

- ① 黒毛和種、褐毛和種、無角和種及び日本短角種の子牛であること。
- ② 肉用子牛生産者補給金制度に登録済みで、対象となる四半期に販売された子牛であること。

※ 自家保留、本人取り（財産権が移転していない子牛含む）は対象となりません。

発動基準価格

品種区分毎の発動基準価格は次のとおりです。

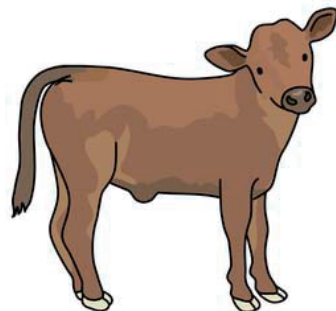
品種区分	発動基準価格
黒毛和種	60万円
褐毛和種	55万円
その他の肉専用種 (無角和種及び日本短角種)	35万円

※ 平均価格は、黒毛和種についてはブロック別（本県は東北ブロック）で、褐毛和種及びその他の肉専用種については全国で算定します。

※ 算定期間は、黒毛和種及び褐毛和種は四半期ごとで、その他の肉専用種は年間で算定します。

※ 事業対象は、令和5年1月～12月販売です。

(価格安定課 亀井 和也)



馬事畜産振興の活動報告

宮城県地域畜産振興対策協議会

地方競馬の普及啓発及び畜産物の消費拡大を図ることを目的に、馬事畜産振興推進事業（地方競馬全国協会委託）において、以下のとおり普及・啓発活動を行いました。

岩手競馬 畜産フェア

令和5年10月1日（日）岩手競馬盛岡競馬場において、宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島の畜産協会等並びに各県馬事畜産協議会の合同による「畜産フェア」を開催しました。

当日は、開門と同時に引換券を入場ゲートにて先着1,110名様に配布し、随時各県畜産加工品の引換えを行いました。大盛況となり引換券の配布は瞬く間に終了し、畜産加工品のプレゼントに来場者は大変よろこんでいました。



宮城200名：美里ハムミートローフ・ポークスペアリブ

青森150名：十和田ガーリックポークソーセージ

岩手200名：エルンテフェスト熟成粗挽きポークウインナー、岩手県産豚もも肉焼豚、いぶしの里ももハム

秋田150名：秋田牛カレー、男のホルモン

山形200名：山形最上どり無添加カルパス、豚サラミ、米沢牛入りさらみ、上杉カルパス

福島210名：福島牛ビーフカレー、福島和牛ビーフシチュー、酪王カフェオレプチパイ&クランチ

（事務局：（一社）宮城県畜産協会）

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価

販売月	肉専用種（宮城県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和5年7月（概算払）	(89,273.0円)	(39,701.0円)	(31,408.4円)
精算払	95,416.2円	45,701.1円	37,302.3円
8月（概算払）	(164,602.1円)	(51,843.8円)	(27,917.3円)
精算払	169,674.3円	56,643.3円	32,547.6円
9月（精算払）	160,290.0円	53,065.8円	—

◎肉用子牛生産者補給金（子牛補給金）の交付金単価 令和5年度第2四半期

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
補給金単価	34,400円	—	—	—	—

◎和子牛生産者臨時経営支援事業の交付金単価 令和5年度第2四半期

	黒毛和種（東北ブロック）	褐毛和種（全国）	その他の肉専用種（全国）
補給金単価	33,000円	5,000円	—

※子牛補給金の登録牛かつ令和5年7月から9月に販売した子牛が対象（自家保留牛は対象外）

◎肉豚経営安定交付金（豚マルキン）の交付金単価 令和5年度第1～2四半期 交付なし